



RI 会長：ステファニー A. アーチック

2620 地区ガバナー：小泉 久司

会長：佐々木 雄二 幹事：中村 将義 会場監督：原 英登

例会：毎週金曜日 19:00～20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2025年5月30日（金） 晴 第1697回例会 週報 NO. 35

司 会：竹内公一 会場監督補佐
点 鐘：佐々木 雄二 会長
ロータリーソング
「それでこそロータリー」
シェークハンドタイム

ゲスト

浜名漁協 SDGs アマモ再生事業部
会長 徳増 隆二 様
副会長 山田 祐己 様
テレビ静岡メディア戦略部
部長 新名 隆大 様

会長挨拶



既に皆様にはお知らせしましたが、チャーターメンバーでもあり、ガバナー補佐も経験された藤野匡司名誉会員が5月26日、ご逝去されました。先ほど、クラブを代表してお通夜に伺いました。奥様や息子さんとも話をしましたが、藤野さんはロータリーが大好きで金曜日を楽しみにしていたそうです。例会後には街に繰り出していろいろ呑んでいた姿が思い出されます。藤野さんに対して皆さんで黙祷したいと思います。

一黙祷— 寂しいことですが、当クラブもここで立ち止まらず発展していくことが藤野さんにとっても喜んでもらえることだと思います。皆さんで協力して行きたいです。

今日のゲストの徳増さんは、次年度の第5グループの合同作業となります。皆さん、困らないように勉強をしてください。

幹事報告



- ・次週は「花のリレープロジェクト」です。朝7時20分から例会です。夜の例会はありません。
- ・その次の週は、例会前に理事会があります。

スマイル

- ♪佐々木雄二さん、中村将義さん
本日はアマモ育成プロジェクトについて、徳増様に卓話をお願いします。次年度のIMにつながる大切な会となります。宜しくお願いします。



♪川井啓介さん

今日はアマモ再生プロジェクトの徳増様、山田様、新名様にお越しいただき、アマモ再生事業のレクチャーをしていただきます。宜しくお願い致します。次年度の合同奉仕事業になりますので、皆様

アマモについてしっかり勉強しましょう。



♪真瀬悦邦さん

徳増様、山田様、新名様、本日はお忙しい中、例会の参加ありがとうございます。



♪渥美専治さん

久しぶりの例会出席です。時間の取れる限り出席しますので、よろしくお願いします。



卓話「アマモ再生プロジェクトについて」

進行：真瀬悦邦 IM 実行委員長

今日の例会は録画して、ほかの11RCで、事前の研修をしていただくことになっています。



徳増隆二様は湖西市新居町生まれ、漁師歴 51 年のベテランです。またユーチューバーとして海のことを発信しています。山田様も湖西市新居町生まれ、漁師歴は 18 年です。浜名湖漁協の中にアマモ再生部会があり、お二人が中心になって引っ張っています。山田さんはマイクロプラスチック問題の活動もしています。また、日本財団の浜名湖ワンダープロジェクトから補助金が出ていて、学校で出前授業をしています。

新名さんはテレビ静岡で浜名湖ワンダープロジェクトを応援しています。



☆徳増 隆二 様

この活動は 9 年ほど前に始めました。というのも、浜名湖で安定した産業だったアサリが獲れなくなり、仕事なくなる危機に直面したからです。直ぐに静大の先生に相談に行きました。私たちはアサリと共存共栄の仲であるアマモを再生して、アサリの漁場を回復させたい。海の生態系の中で回復するのはとても難しいことですが、この数年で少しずつ回復してきました。

アマモは波や流れを緩やかにします。10 数年前には 800ha 以上あったアマモが数年で無くなってしまいました。アサリの稚貝はアマモの根に着床します。最近は産卵するアサリも減ってしまいました。1980 年代は 8700t で全国 3 位の漁獲高だったアサリも今年はゼロです。去年は 108 キロでした。

海に根付く植物は珍しく世界でも 50 種ほどです。浜名湖には 2 種

います。アマモは海藻ではなく、種子から育つ海草です。

アマモが減ってしまった原因はいろいろありますが、その中でも大きかったのは黒潮異変です。ここ何年か温かい海水を遠州灘に持ってきていました。アマモは水温の低い海域を好みます。水温 13~14 度の真冬に発芽します。8 年前の台風も影響しました。この時期、アマモは根だけが残っているのですが、その根を波に攫われてしまいました。

黒潮の色は紺色です。栄養がないので、深い所でも明るいのです。親潮は黒竜江省から栄養塩をもらって栄養に恵まれています。

アマモは岩場と砂泥底を好みます。大アマモは 7 m ぐらいですが、日本では絶滅危惧種です。小アマモも静岡県では準絶滅危惧種ですし、福岡などでは絶滅危惧種です。何か人間の手を加えないと維持できないのですが、民間に徹底されていない状況です。

浜名湖はアサリの不漁から、保護と増殖に努め、6 割ぐらいになりましたので、間に合ったといえます。日本では浜名湖の再生率が一番だと思います。

アマモは干潮時でも水深 20cm は必要です。良いのは 1~1.5m ぐらいの深さです。噛むと甘いのでこの名がつけました。栄養状態が良いほど甘いです。地味な花を咲かせます。雌雄同体で、めしべとおしべが交互につく 1 年草です。漂流するものもあり、この種は強いです。

アマモにはイカが産卵に来ます。ほかにもサヨリ、アメフラシ、アカニシなどの卵が見られます。干潮にも強いです。



驚津付近の去年植えたところではアマモが増えています。館山寺付近、水深 6m の所でも増えています。長いものは 1.8m あります。密集しているところも増えています。

カーボンクレジットの JB という機関にトライしようと思っています。ブルーカーボン生態系、アマモもそうですが、ワカメ、ノリ、アッケシソウ（シーアスパラ）、マングローブなどを保護の対象に申請をする予定です。今年は 46 団体が申請をしています。申請にあたりドローンを使ってどのくらいの広さなのか正確な数字が出てくる予定ですが、300~400ha あるのではないのでしょうか。ゼロから 9 年でこんなに育ったのは日本では初めてだと思います。

マイクロプラスチックは 5 ミリ以下のものを言いますが、実際に悪さをするのは目に見えないサイズです。魚が皆食べてしまうからです。細かい網で取りますが、網を細かくし過ぎるとプランクトンも取ってしまうことになります。

☆山田 祐己 様

皆さんが食べるシラスの中にもマイクロプラスチックが入っています。自分たちの船では獲れたシラスを、フィルターを使って、マイクロプラスチックを除くようにしています。シラス漁をやりながら海をきれいにしています。

スズキ自動車も船外機にこのフィルターを付けています。海洋レジャーをしながら、我々は漁をしながら、海をきれいにします。ストレスフリーでやるのが大切です。

今後ともご支援を宜しくお願いします。

出席報告

発表：寺田 朋広出席委員

会員数	40名
出席者数	23名
出席算定会員数	33名
出席率	69.70%

前々回出席者数
23名
前々回出席率
67.65%

